

第 161 回 日本医学放射線学会九州地方会

プログラム

会期:平成 17 年 6 月 25 日(土) , 26 日(日)

会場:宮崎市民プラザ

会長:田村 正三

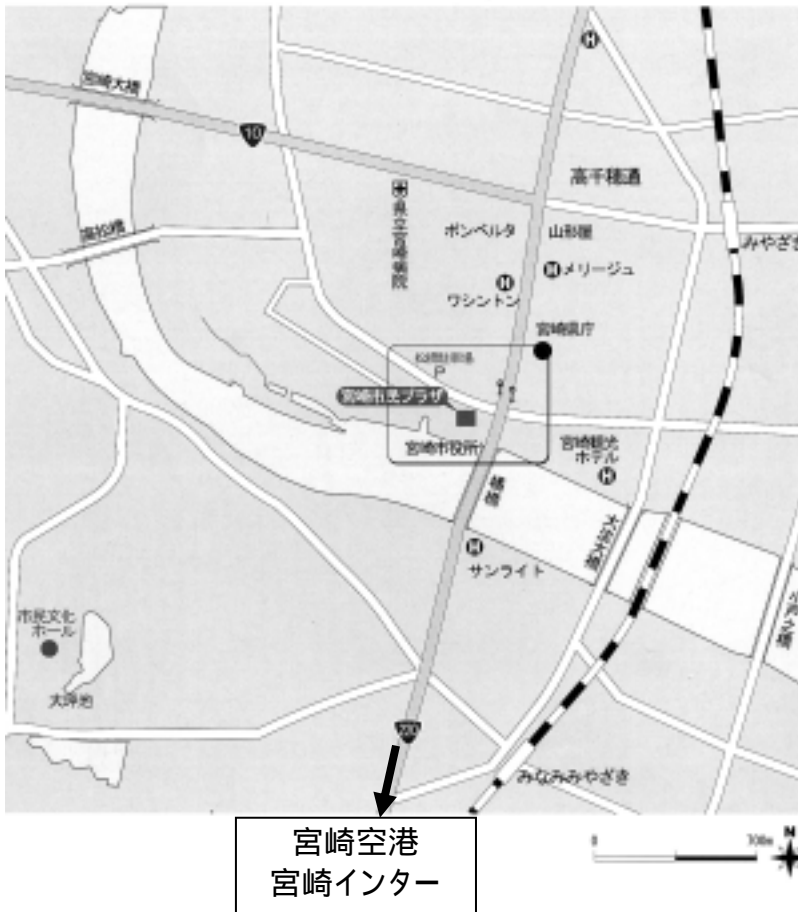
事務局:宮崎大学医学部放射線医学教室内

〒889-1692 宮崎郡清武町大字木原 5200

TEL 0985-85-2807

FAX 0985-85-7172

会場への交通ご案内



宮崎市民プラザ

〒880-0001

宮崎市橘通西1丁目1番2号

TEL 0985-24-1008

FAX 0985-29-2244

駐車場

松橋駐車場(無料)

地下駐車場(有料)

交通アクセス

宮崎空港: タクシーで 20 分、バスで 25 分

JR 空港→宮崎駅 10 分

宮崎駅: タクシーおよびバスで 10 分

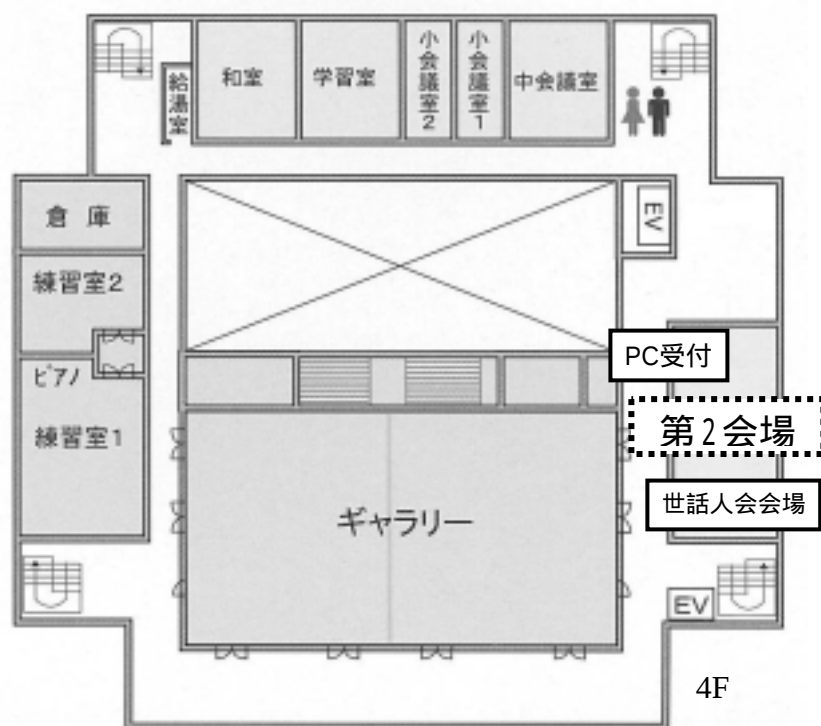
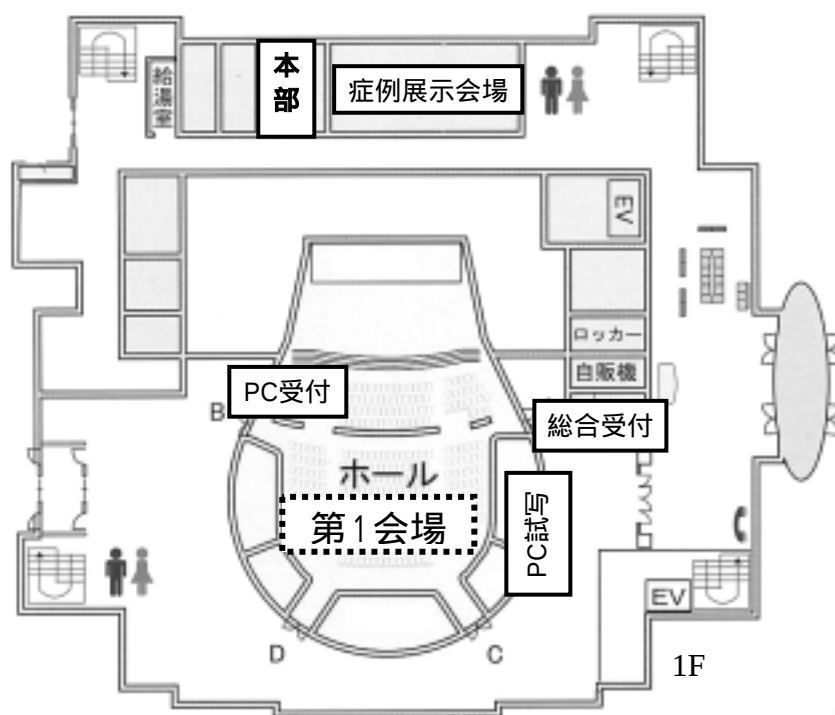
宮崎インターから 20 分

最寄りのバス停

橘通1丁目

会場まで徒歩 3 分

会場内のご案内



症例の呈示は、ホール裏の大楽屋です。ドリンクコーナーも同じ部屋に設けています。

お知らせとお願い

口演発表者へのご案内

一般演題の発表時間はすべて5分、討論時間は2分です。時間厳守でお願い致します。

発表形式はPCプレゼンテーションのみです。PCプレゼンテーションについては、**ご自身でパソコン(必要な場合は接続アダプタ)を持ち込んでの発表に限らせて頂きます。**

パソコンにトラブルのあった場合に備えて、バックアップとしてCD-ROMあるいはUSB大容量記憶装置デバイス(外付けメモリー)を必ずご用意ください。バックアップを持参されなかったために発表が不可能となっても事務局は責任を負いかねます。

発表機種はApple Power Macintosh か Windows98 以上(98, 2000, XP)が動作するDOS/V機をご使用下さい。

発表中またはその準備中にバッテリー切れとなることが多々ございます。会場にはコンセント口をご用意しておりますので、コンセント用電源アダプタをご持参下さい。

一部の薄型ノートパソコン(SONYのVAIOなど)で、モニタ出力端がDsub-15pin{正式名称:HD(3WAY)15pin}でないものがあります。この端子がないものは本体のみではプロジェクタにつなぐことができません。別売りのアダプタが必要となりますので、必ずご用意下さい。

発表の45分前までにPC試写受付にて出力をチェックして下さい。セッションの始まる15分前には会場へパソコン(必要な場合は接続アダプタ)をお持ち下さい。会場には次演者席付近にオペレーターが待機しておりますので、プロジェクタへの接続をお申し出下さい。

プロジェクタへの接続はオペレーターが行いますが、発表時の操作はご自身で行って下さい。

ノートパソコンの1部機種でパソコンのモニタ出力端子より出力する解像度がVGA(640×480)に限定されている機種があります。その解像度以上のサイズでデータを作成しますとノートパソコンの画面では正しく表示されていてもプロジェクタで映写した場合にレイアウトがくずれてしまう恐れがありますので、出力できる解像度を確認してからデータの作成をされることをお勧めします。

発表中にスクリーンセーバや省電力機能で電源が切れてしまわないよう、設定のご確認をお願いします。

ムービーの使用も可能ですが、特殊なファイル形式ではプロジェクタが対応できない可能性があります。一般的なファイル形式をお勧めします。

音声・効果音は会場のスピーカーに出力できません。

その他

会場受付にて地方会年会費と会場整理費(1,000 円)をお支払いの上、ネームカードをお受け取り下さい。

受付および PC 試写受付は、6 月 25 日(土)12 時、6 月 26 日(日)9 時開始です。

講演会場は、第 1 会場が 1 階のオルブライトホール、第 2 会場が 4 階の大会議室です。

世話人会は 6 月 26 日(日) 12 時 20 分より第 2 会場(大会議室)にて行います。尚、昼食代を会場にて頂きます。

総会は 6 月 27 日(日) 13 時 20 分より第 1 会場にて行います。

症例検討会のフィルムは 6 月 25 日(土)12 時より大楽屋にて呈示致します。なお、日本医学放射線学会九州地方会ホームページにおいても症例の閲覧が可能となる予定です。

<http://www.nmed-center.co.jp/radiol-q-chihoukai/>

ドリンクコーナーを大楽屋に設けていますので、ご利用下さい。それ以外での飲食は禁じられております。

会場はすべて禁煙となっております。御協力下さい。

日程

6月25日(土)

第1会場 (オルブライトホール)

12:55 ~ 13:00	開会の辞			
13:00 ~ 13:42	神経・頭頸部	座長	久留米大	田中 法瑞
13:42 ~ 14:17	神経・頭頸部	座長	熊本大	平井 俊範
14:17 ~ 14:52	IVR	座長	産業医大	畠山 佳久
14:52 ~ 15:27	IVR	座長	宮崎大	古小路 英二
15:30 ~ 16:30	特別講演	座長	宮崎大	田村 正三
16:30 ~ 18:30	症例検討会	司会	宮崎大	矢野 貴徳 山口 健一郎

第2会場 (大会議室)

13:00 ~ 13:35	核医学	座長	九州大	古賀 博文
13:35 ~ 14:10	治療	座長	九州大	中村 和正
14:10 ~ 14:45	治療	座長	宮崎大	楠原 和朗

大楽屋

13:00 ~ 17:00	症例展示
---------------	------

6月26日(日)

第1会場 (オルブライトホール)

10:00 ~ 10:35	消化管	座長	佐賀大	水口 昌伸
10:35 ~ 11:10	肝・胆・膵	座長	琉球大	宜保 昌樹
11:15 ~ 12:15	特別講演	座長	宮崎大	田村 正三
13:20 ~ 13:35	総会			
13:35 ~ 14:10	後腹膜・骨盤	座長	鹿児島大	中禮 久彦
14:10 ~ 14:15	閉会の辞			

第2会場 (大会議室)

10:00 ~ 10:35	胸部・心血管	座長	福岡大	清水 健太郎
10:35 ~ 11:10	胸部・心血管	座長	大分岡病院	首藤 利英子
12:20 ~ 13:20	世話人会			
13:35 ~ 14:10	骨軟部	座長	長崎大	上谷 雅孝

大楽屋

10:00 ~ 14:00	症例展示
---------------	------

6月25日(土)

第1会場(オルブライトホール)

開会の辞 12:55 ~ 13:00

一般演題

神経・頭頸部 13:00 ~ 13:42 座長 田中 法瑞 (久留米大)

1. 3T MRI の頭部領域における初期経験

産業医大・放 森谷 淳二 掛田 伸吾 大成 宣弘 畠山 佳久 興梠 征典

2. 神経膠腫における MIB-1 陽性率と MRI 所見の関連について

熊本大・放 根岸 孝典 北島 美香 平井 俊範 奥田 智子 山下 康行
同・脳外 中村 英夫 倉津 純一

3. 造血幹細胞移植後に発症した HHV-6 脳症の検討

九州大・臨放 野口 智幸 三原 太 吉浦 敬 梅尾 理 本田 浩
浜の町病院・放 渥美 和重 松浦 隆志
九州がんセ・放 黒岩 俊郎

4. 骨肉腫に対するメトトレキサート(MTX)大量療法後早期に発症した大脳白質障害の一例

長崎大・放 御手洗 和範 森川 実 宮田 陽子 高尾 正一郎 坂本 一郎
上谷 雅孝

5. 大脳皮質線状病変と中小脳脚卵円形病変が対称性にみられた肝性脳症の1例

佐賀大・放 野見山 圭太 内野 晃 高瀬 幸徳 工藤 祥
同・神内 薬師寺 裕介 黒原 和博 黒田 康夫
高木病院 江頭 玲子

6. Posterior reversible encephalopathy syndrome の3例

琉球大・放 山城 恒雄 神谷 尚 飯田 行 赤嶺 珠 村山 貞之

神経・頭頸部 13:42 ~ 14:17 座長 平井 俊範 (熊本大)

7. 脳卒中症状で発症した胸部大動脈解離の2例

九州医療セ・放 安森 弘太郎 村中 光 古谷 清美 平賀 聖久 名本 路花
上原 智 松村 泰成
同・脳血管内科 藤本 茂 岡田 靖
同・心臓外科 富永 隆治

8. 直接変換方式 FPD を用いた低線量血管造影の可能性—脳動脈瘤ファントムでの検討—

産業医大・放 畠山 佳久 掛田 伸吾 大成 宜弘 森谷 淳二 興梠 征典
同・放部 陣内 裕介 小田 紘弘
島津製作所 西野 和義 宮本 渉

9. 直接変換方式 FPD を用いた回転血管造影装置によるコーンビーム CT—IVR への応用

産業医大・放 畠山 佳久 掛田 伸吾 大成 宜弘 森谷 淳二 興梠 征典
同・放部 小田 紘弘
島津製作所 西野 和義 宮本 渉

10. 咀嚼筋間隙に進展した Peripheral Ameloblastoma の 1 例

大分大・放 小野 麻美 本郷 哲夫 相良 佳子 加藤 さくら 松本 俊郎
森 宣
同・歯口腔外科 高橋 泰 柳澤 繁孝
同・病理 加島 健司

11. 超急性期脳底動脈閉塞症に対する経皮的血行再建術

永富脳外科・放 柏木 淳之 堀 雄三
同・脳外 浅野 智重 永富 裕文
大分大・放 清末 一路 岡原 美香 田上 秀一 相良 佳子 森 宣

IVR 14:17 ~ 14:52 座長 畠山 佳久 (産業医大)

12. 4-lumen バルーンカテーテルを用いた切除予定側アプローチによる経皮経肝門脈枝塞栓術の初期経験

琉球大・放 宜保 昌樹 運天 忍 森田 光 鮎川 雄一郎 村山 貞之

13. 大腿動脈狭窄及び鎖骨下動脈狭窄を合併し、血管造影に苦慮した長期生存中の肝細胞癌の 1 例

福岡大・放 高良 真一 岡崎 正敏 木村 史郎 東原 秀行 浦川 博史
品川 喜紳 野々熊 真也

14. 当院における PSE(部分的脾動脈塞栓術)の現状

大分医療セ・放 平山 圭介 中村 雄介

15. 外傷性脾損傷の一例

大分アルメイダ病院・放 松田 健 梶谷 元改 山田 雅文
同・外科 竹本 香織 白鳥 敏夫

16. Domestic Violence による c 型脾損傷に対し、TAE が有用であった一例

久留米大・放 廣瀬 靖光 小金丸 雅道 内山 大治 安陪 等思 早瀬 尚文
同・救命救急セ 坂本 照夫

IVR 14:52 ~ 15:27 座長 古小路 英二 (宮崎大)

17. 右鎖骨下動脈から分岐した右気管支動脈に気管支動脈塞栓術を施行した一例

福岡東医療セ・放 古屋 暁生 森田 一徳
九州大・臨放 鳥羽 隆史

18. 腸骨動脈領域の動脈狭窄症に対するステント留置術(Luminex の初期使用経験)

都城医師会病院・放 前田 陽夫 生嶋 一朗
熊本大・放 山下 康行

19. 急性大動脈解離による真腔狭窄に対し spiral Z stent を留置した 1 例

熊本大・放 田村 吉高 池田 理 中曽根 豊 山下 康行
同・心外 田爪 宏和 国友 隆二 川筋 道雄

20. 透析シャント血栓性閉塞に対する血栓除去術の有用性

宇賀岳病院 安田 剛
熊本大・放 山下 康行

21. 仙骨部脊索腫術後再発に対して経皮的エタノール注入療法を施行した 1 例

今給黎病院・放 中條 正豊 大久保 幸一 福倉 良彦 南立 亮
鹿児島大・放 中禮 久彦 中條 政敬

特別講演 15:30 ~ 16:30 座長 田村 正三 (宮崎大)

Asan Medical Center, University of Ulsan College of Medicine

Department of Diagnostic Radiology

Professor Ho-Young Song

『Current trends in gastrointestinal stent placement』

症例検討会 16:40 ~ 18:30 司会 矢野 貴徳 (宮崎大)
山口 健一郎 (宮崎大)

第2会場(大会議室)

一般演題

核医学 13:00 ~ 13:35 座長 古賀 博文 (九州大)

22. Neurostat を用いたベンゾジアゼピン受容体シンチの表示法について

鹿児島大・放 中別府 良昭 神宮司 めぐみ 土持 進作 中條 政敬

23. 加齢と脳代謝の関係:FDG - PET 全身像の抽出脳データを用いた検討-2

鹿児島大・放 中別府 良昭 馬ノ段 智一 神宮司 めぐみ 土持 進作
中條 政敬

厚地 PET センター 田辺 博昭 立野 利衣 陣之内 正史

24. PET 検診の癌検出率と病期分類

新古賀・放 小野 研 大曲 淳一

古賀 21・放 落合 礼次 吉田 毅 北川 マミ

古賀クリ・放 小林 尚志

25. PET 検診で二重癌が発見された一症例

久留米大・放 中村 真衣子 甲斐田 勇人 石橋 正敏 馬場 健吉 有川 俊二
富田 直史 魚住 淳 早瀬 尚文

同・3 内科 田原 宣広

同・外科 矢野 正二郎

26. 肺癌 RFA 後の治療効果判定に 201TI-SPECT/CT fused image が有用であった2例

熊本大・放 田代 城主 河中 功一 楠 真一郎 白石 慎哉 山下 康行

同・保健学科 富口 静二

天草地域医療センター 福岡 博文

済生会熊本病院 工藤 康一

治療 13:35 ~ 14:10 座長 中村 和正 (九州大)

27. 定位照射と通常照射の同時併用が有効であった転移性肺癌の一例

鹿児島大・放 中禮 久彦 平木 嘉幸 林 完勇 馬ノ段 智一 中條 政敬

今給黎病院・放 南立 亮 中條 正豊 福倉 良彦 大久保 幸一

28. 集学的治療で長期生存が得られた肺癌術後再発の1例

宮崎大・放 渡邊 祐子 小野 誠治 楠原 和朗 黒木 正臣 中田 博
田村 正三

29. 肺癌照射野内再発に対する3回以上再照射の検討

産業医大・放 加藤 文雄 宋 裕徳 森岡 丈明 中野 敬太 矢原 勝哉
大栗 隆行 今田 肇 興杢 征典

30. 腎癌の肺転移に放射線治療・温熱化学療法が奏功した1例

戸畑診療所・放 成定 宏之
産業医大・放 今田 肇 加藤 文雄 森岡 丈明 興杢 征典

31. 前立腺癌に対する根治的放射線治療成績

琉球大・放 小川 和彦 戸板 孝文 垣花 泰政 伊良波 史朗 玉城 稚奈
村山 貞之
那覇市立・放 足立 源樹

治療 14:10 ~ 14:45 座長 楠原 和朗 (宮崎大)

32. 上咽頭癌の放射線治療成績

佐賀大・放 平川 浩一 徳丸 直郎 米永 健徳 今泉 猛 工藤 祥
佐賀大・耳鼻 井ノ口 昭

33. 口腔癌に対するTS-1併用放射線療法の初期成績

熊本大・放治 坂本 隆史 村上 龍次 大屋 夏生
熊本大・口外 太田 宜彦 太田 和俊 池邊 哲郎 篠原 正徳
熊本大・放診 馬場 祐之 平井 俊範 山下 康行

34. 化学放射線治療が著効した食道癌術後再建胃管癌の一例

産業医大・放 中野 敬太 加藤 文雄 宋 裕徳 森岡 丈明 矢原 勝哉
大栗 隆行 今田 肇 興杢 征典
産業医大・1外 永田 直幹 伊藤 英明

35. 胃癌リンパ節転移への温熱化学放射線治療が奏功した3例

産業医大・放 今田 肇 宋 裕徳 森岡 丈明 中野 敬太 矢原 勝哉 大栗 隆行
加藤 文雄 興杢 征典
戸畑診療所・放 成定 宏之

36. 直腸癌の術後局所再発に対する当院での放射線治療成績

九州大・放 山口 俊博 中村 和正 塩山 善之 大賀 才路 鳥羽 隆史
吉武 忠正 寺嶋 廣美 本田 浩

6月26日(日)

第1会場(オルブライトホール)

一般演題

消化管 10:00 ~ 10:35 座長 水口 昌伸 (佐賀大)

37. 乳癌の胃転移の一例

九州がんセンター 津嶋 久美子 井野 彰浩 堀之内 信 黒岩 俊郎 西山 憲一
片岡 明美 大野 真司

38. Mesodiverticular band により小腸絞扼性イレウスを来した3例

大分大・放 相良 佳子 本郷 哲央 山田 康成 高木 一 松本 俊郎 森 宣
同・病理第一 近藤 能行
同・外科第一 當寺ヶ盛 学 北野 正剛
大分岡病院・放 首藤 利英子

39. 著明な気腹をきたした腸管壁気腫の1例

九州医療セ・放 渡辺 一平 安森 弘太郎 村中 光 古谷 清美 平賀 聖久
名本 路花 上原 智 松村 泰成
同・消化器内科 有村 英一郎 酒井 浩徳

40. pseudomysoma peritonei をきたした横行結腸癌の1例

佐世保総合病院・放 久保田 紗代 中島 一彰 犬塚 理子 六倉 正英
同・外科 小松 英明
同・病理 岩崎 啓介
長崎大・放 上谷 雅孝

41. 出血部位の同定に苦慮した急性出血性直腸潰瘍の1例

九州大・臨放 増成 暁 宇都宮 尚 松浦 秀司 入江 裕之 本田 浩
九州大・先端医工学 掛地 吉弘

肝・胆・膵 10:35 ~ 11:10 座長 宜保 昌樹 (琉球大)

42. 肝門部良性 Schwannoma の1例

麻生飯塚病院 上藺 玄 小栗 修一 福谷 龍郎 越智 美帆 松本 吉弘
白石 直孝 村上 純滋 調 憲 赤星 和也 大屋 正文

43. 外傷性血腫との鑑別が困難であった肝未分化胎児性肉腫の一例

熊本大・放 清水 愛 田村 吉高 中山 善晴 粟井 和夫 池田 理
山下 康行 猪股 裕紀洋 猪山 賢一

44. 悪性黒色腫の胆嚢転移の一例

九州大・臨放	高山 幸久	浅山 良樹	吉満 研吾	入江 裕之	田嶋 強
	石神 康生	平川 雅和	柿原 大輔	本田 浩	
同・腫瘍外科	杉谷 篤				
同・皮膚科	師井 洋一				
同・形態機能病理	江口 孝志				

45. Lymphoepithelial cyst of the pancreas の1例

長崎大・放	牧野 謙二	長置 健司	磯本 一郎	上谷 雅孝
同・移植消化器外科	田島 義証			
同・治験管理セ	水田 陽平			
同・第二内科	高森 謙一			
同・原研病理	中山 敏幸			

46. 選択的動脈内カルシウム注入試験が診断に有用であったインスリノーマの1例

九州医療セ・放	堀見 克礼	安森 弘太郎	村中 光	古谷 清美	平賀 聖久
	名本 路花	上原 智	松村 泰成		
同・外科	才津 秀樹				
同・内科	吉住 秀之				

特別講演 11:15 ~ 12:15 座長 田村 正三 (宮崎大)

熊本大学大学院医学薬学研究部総合医薬科学部門生体情報分析医学講座

放射線治療学分野教授 大屋 夏生先生

『放射線治療における有害事象予測研究の現況』

総会 13:20 ~ 13:35

一般演題

後腹膜・骨盤 13:35 ~ 14:10 座長 中禮 久彦 (鹿児島大)

47. 後腹膜神経節細胞種の3例

今給黎病院・放 南立 亮 大久保 幸一 福倉 良彦 中條 正豊
同・病理 白濱 浩 田代 幸恵
同・泌尿器 中目 康彦
鹿児島大・放 中條 政敬

48. 後腹膜出血を契機に診断された結節性多発動脈炎の1例

県立宮崎病院・放 川崎 裕平 宮本 浩仁 清原 省吾 押方 慎弥 藤本 正樹
山田 浩己
同・泌尿器科 月野 浩昌 木宮 公一 蓑田 優
同・内科 上園 繁弘

49. CT、MRA で診断が困難であった腎動静脈奇形の一例

済生会二日市病院・放 小林 崇 西村 浩
同・泌尿器科 川越 伸俊
久留米大・放 内山 大治 小金丸 雅道 早淵 尚文

50. 右巣径部に発生した外性子宮内膜症の一例

大牟田市立総合病院・放 服部 睦行 倉田 精二
同・外科 久保田 雅博 堀内 彦之
同・産婦人科 森田 淑生
同・病理 荒川 正博
久留米大・放 早淵 尚文

51. 副卵巣に発生した線維腺腫の1例

福岡県立柳川病院・放 辻 吉保 迫田 順
同・産婦人科 本村 聡
久留米大・放 早淵 尚文
同・産婦人科 西田 直代
同・病理 文森 建秀 鹿毛 政義 神代 正道

第2会場(大会議室)

一般演題

胸部・心血管 10:00 ~ 10:35 座長 清水 健太郎 (福岡大)

52. 低線量 MDCT による肺限局性スリガラス影の検出

熊本大・放診 劉 舵 中山 善晴 中浦 猛 Shamima Sultana 田村 吉高
楠 真一郎 山下 康行
同・画像診断 粟井 和夫
同・保健 船間 芳憲
同・中央放射線部 羽手村 昌弘

53. 16MDCT による冠動脈ステント描出能: 心臓動態ファントム実験

済生会熊本病院・画診セ 宇都宮 大輔 杢山 博幸 西春 泰司 浦田 譲治
熊本大・放 粟井 和夫 山下 康行

54. MD-CT が経過観察に有用であった冠動脈肺動脈瘻の一例

小倉記念病院・放 伊原 浩史 牧角 健司 立志 優子 一矢 有一
同・循環器科 野坂 秀行

55. 右遺残坐骨動脈の評価に MDCT が有用であった 1 例

県立延岡病院・放 落合 竜三 杉村 宏 村中 貴浩
同・心臓血管外科 中村 栄作 桑原 正知

56. 左胃動脈を起始とする異常血管による肺葉内肺分画症の 1 例

九州医療セ・放 古谷 清美 安森 弘太郎 村中 光 平賀 聖久 名本 路花
上原 智 松村 泰成
同・呼吸器センター 竹尾 貞徳 一木 昌郎
同・病理 上杉 憲子

胸部・心血管 10:35 ~ 11:10 座長 首藤 利英子 (大分岡病院)

57. Mycobacterium kansasii 症の CT 所見: MAC 症、肺結核との比較

熊本再春荘病院 伊藤 加奈子 古閑 幸則 今村 文哉 濱本 淳二 本田 泉
福島 一雄 杉本 峯晴
熊本大・放 粟井 和夫 山下 康行

58. 肺寄生虫感染症の 2 例

浜の町病院・放 藤田 展宏 境 昌宏 田中 厚生 舩本 博史 松浦 隆志

59. 後腹膜腔より胸腔内にかけて認められた気管支原性嚢胞の一例

熊本大・放 東家 亮 河中 功一 田村 吉高 池田 理 山下 康行

60. 自然縮小した縦隔腫瘍の一例

九州循環器病セ・放	有村 健 牧野 正興 山角 麻美
仁愛会病院	米倉 隆治
鹿児島大・放	中條 政敬

61. 気管支脂肪腫の一例

武藤胃腸科クリニック	古川 信房
中津市民病院・呼吸器外科	福山 康朗
同・放	日高 啓 鶴丸 大介
同・病理	北野 元生

世話人会

12:15 ~ 13:15

一般演題

骨軟部

13:35 ~ 14:10 座長 上谷 雅孝 (長崎大)

62. 3 テスラ MRI による骨軟部評価の初期経験

産業医大・放 青木 隆敏 三島 慶子 川波 哲 興杢 征典

63. Gefitinib 投与後に肺癌患者に生じる骨硬化性変化の検討

産業医大・放 三島 慶子 川波 哲 青木 隆敏 興杢 征典
同・産業医実務研修セ 岡崎 浩子

64. 頸部から上縦隔にかけて発生した malignant myoepithelioma の 1 例

九州大・臨放	山下 孝二 松尾 芳雄 薮内 英剛 添田 博康 神谷 武志
	岡藤 孝史 畠中 正光 本田 浩
同・耳鼻咽喉	中島 寅彦
同・形態機能病理	小田 義直

65. Sacral rib と思われた 1 例

九州がんセンター 寺嶋 広太郎 角南 俊也 津嶋 久美子 松延 亮 野々下 豪
篠崎 賢治 田原 隆 黒岩 俊郎 横山 良平 西山 憲一

66. 小児における胸骨分節脱臼の一例

大分県立病院・放	三好 真依 本多 功一 亀井 歩 小松 栄二 前田 徹
同・小児外科	飯田 則利
同・病理	卜部 省悟 辻 浩一
大分大・放	亀井 律孝 松本 俊郎 森 宣